長野県軽井沢町議会

議会だより

軽井沢
KARUIZAWA

No.97

平成24年11・12会月議

地下水保全条例修正可決！！ p2-3
活発な議案質疑 p4-5
議会とまちづくりを語る会開催 p6-7
一般質問に８人 p8-15

例 修正可決!!

◆12月定例月会議（12月6日から21日までの16日間開催）

議案22件のうち、1件を修正し可決（全会一致）。専決処分の報告4件を受け、陳情2件を（賛成13、反対2）採択しました。
他に、自治法の改正により議会に関する会議規則、委員会条例、政務活動費、基本条例等について改正しました。

議　案（主なもの）

◎軽井沢町地下水保全条例の制定

・軽井沢町における地下水が貴重な資源であり、公水であるとの認識に立ち、地下水の保全に関し必要な事項を定めることにより、地下水の適正な利用を図るとともに、公共の福祉に資することを目的として制定されました。
・町長に申請して設置の許可を受けなければならない。
・地下水保全のため、町の責務、町民等の責務、採取者の責務を定めた。
・許可の取り消し、地下水の採取一時停止、原状回復等命令できることとした。

※修正部分についてはP6総務常任委員会参照

◎軽井沢病院の医師の給与、研修費、医療事業手当を改正

◎家庭系一般廃棄物のゴミ袋の値上げ

・中（30リットル）1枚が25円から30円。小（15リットル）1枚が15円から20円（平成25年4月1日施行）

◎国民健康保険税条例の一部改正

・高齢者の増加、医療技術の高度化による医療費の増加により国民健康保険税の引き上げ（平成25年4月1日施行）

◎軽井沢町防災会議条例等の一部改正

・防災会議委員に女性を多く登用し、意見を反映するための改正

◎指定管理者の指定

・くつかけテラス、カーリングホール、スケートリンク指定管理者の指定
　くつかけテラス「株式会社フードサービスシンワ」
　カーリングホール
　スケートリンク「風越パークコーオペレイション」

補正予算（各会計主なもの）

◎平成24年度軽井沢町一般会計補正予算（第5号）　**［1212万円増額］**

・一般職員人事管理費　7050万円減額
・道路新設改良一般経費　1億1150万円増額
・住宅リフォーム補助　5600万円増額
・まちづくり交付金事業費　1億269万円減額

◎平成24年度軽井沢町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）　**［463万円増額］**

・療養給付費増他

◎平成24年度軽井沢町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）　**［700万円増額］**

・浅麓汚泥再生処理センター経費増他

◎平成24年度軽井沢町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）　**［797万円増額］**

・後期高齢者医療広域連合納付経費増他

地下水保全条

陳情（P16参照）

◎安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

「陳情者」長野県医療労働組合連合会　執行委員長　小林　吟子

（趣旨抜粋）

一、看護師などの夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上とし、労働環境を改善すること。

二、医師・看護師・介護職員などを大幅に増員すること。

◎安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書

「陳情者」長野県医療労働組合連合会　執行委員長　小林　吟子

（趣旨抜粋）

一、介護現場の実態をふまえ、介護報酬の緊急再改定を行うこと。

二、国庫負担を拡充し、介護保険料と利用負担を軽減すること。

三、生活援助の時間短縮を見直し、必要なサービスを受けられるように改善すること。

四、国の責任と財政負担により、介護職員の処遇改善を進めること。

以上、2件の陳情について賛成13反対2の賛成多数により採択とし、関係機関へ意見書を提出することとしました。

なお、意見書はP16を参照してください。

◆11月第1回会議（11月16日開催）

議案4件を原案可決（全会一致）。専決処分の報告2件を受け、人事案件2件に同意しました。

議案

《契約の締結》

◎総合体育館建設用地の地盤改良工事　7875万円

◎建設中のカーリングホール棟の机、いす、ロッカー、物品棚などの備品の購入　1617万円

◎建設中のカーリングホール棟のストーン、貸靴など競技用備品の購入　1916万円

《変更契約》

◎建設中のカーリングホール棟の車いすトイレ、放送設備等の増工事　840万円

人事案件

一、教育委員会委員の任命　池内　輝雄　氏

一、風俗審議会委員の選任　柳澤　俊彦　氏

質疑集中!!

軽井沢町地下水保全条例の制定

内堀次雄　外国人による水ビジネスのおそれがあると言う事で、整備される条例と認識している。

措置命令に従わない者に対しては、採取の停止を命ずるとか踏み込んだ、検討をしたか。

上下水道課長　停止をさせるところまでは踏み込んではいないが、措置命令に従わなかった者には、設置許可の取り消しが出来る。取り消しをされると、無許可の設置と言う事になりさらに公表もするので、対応はある程度できていると考える。

内堀次雄　設置許可を受けずに、水ビジネスに取り組む者にとり、30万円・50万円の罰金では不十分である。確信犯への対策として採取の停止まで踏み込む必要があると考えるが。

上下水道課長　公表されると企業イージや社会的信用が失われるので、効果はあると考える。

大浦洋介　50万円の罰金を払えば、条例を無視して井戸が掘れるというのはおかしい。

町長　許可を受ける事が前提にあるので、50円万払ってそのまま、取水するとは考えにくい。

大浦洋介　罰金額の根拠は。

上下水道課長　近隣の市町村を参考にして長野地方検察庁とも協議した結果、罰金額は妥当であるとの見解を得ている。

袖山卓也　地下水の安全で良質な水の確保、あるいは、佐久地域での共同声明では、地下水及び湧水などの保全となっているが、建設で大量の水が出た場合も湧水と考えるか。

採取量の上限が、1日300立方メートル（ドラム缶1500本）だが、同一敷地内で井戸を何本も掘れるのか。

上下水道課長　この条例は採取について特化した条例である。町には自然保護のための土地利用行為の手続きに関する条例があり、事前協議の中で大きく制限する。

建設で水が出た場合は条例の対象外である。

条例で一団の土地の定義を定めており、井戸は1本だけである。

佐藤敏明　現在、湧水を利用して水道水として使用している別荘地もこの条例の対象になるのか。

上下水道課長　湧水でも動力を使って集めれば条例に該当するが、自然流水ならば該当しないので、その事例ごとに検討する。

豊かな地下水を守れ！

軽井沢町屋内多目的運動場条例等の一部改正

荻原宗夫　町内には長年続いている大会があり、減免廃止となると施設利用費がかさみ大会が維持できないと思うが。

副町長　町及び教育委員会が主催して使用する場合は、有料にする改正であり、町長が認める大会においては減免することが出来る規定は残っている。

地下水保全条例と指定管理に

指定管理者の指定

荻原宗夫 指定管理を申し出る業者からどのようなプランで、どのくらいの費用がかかるか文書での提出があり、検討すると思うが、費用重視かプラン重視なのか。

企画課長 選定委員会を設置し事業内容、サービス、料金等さらに施設の設置目的に適合し、効果的な運営ができるか審査して決定している。

大浦洋介 くつかけテラスの指定管理者にフードサービスシンワが候補だが、この会社は各地で指定管理を受けているが、管理体制を直視しているか。

観光経済課長 書類審査したところ、人員配置が最大12名体制であり、くつかけテラスが周辺の賑わいや憩いの場づくり、観光客にも愛される施設となるよう努め、地元商店等にも協力していく等、具体的な提案がされている。佐久創造館と須坂青年の家にて視察も行った。

袖山卓也 カーリングホールとスケートリンクの指定管理について、近年スピードスケート人口が減少しているが、リンクの稼働率を上げる提案はあったか。

企画課長 軽井沢町開発公社とスポーツコミュニティー軽井沢クラブとが合体し、風越パークコーオペレイションが設立され、期待度がある。

篠原公子 指定管理者が管理するそれぞれの施設の館長的存在は確認できているか。

建設課長 町開発公社とスポーツコミュニティー軽井沢クラブの企業体で決められていく。それぞれ専門的分野にたけた人材がいるので、ウィンタースポーツの活況を取り戻す努力に期待したい。

期待される住民の交流の場に！

篠原公子 北海道の苫小牧市の指定管理者は、大会誘致委員会に参画し積極的に大会を誘致しているが。

企画課長 町の施設自体が住民の福祉増進に努めるとあるので、大会だけというわけにいかないが、風越施設専用のパンフレットを作り宣伝に努めたい。

佐藤敏明 町体育協会のスケート部は、できるだけ大会を誘致している。これからは指定管理者・町・スケート部が一体となってスケート人口増を図り、リンクの稼働率を上げる事が大切と考える事が。

企画課長 それぞれの競技団体と指定管理者が協力し合っていくことが大切と考えるので、町も協力は惜しまない。

荻原宗夫 今後、指定管理者を決定したときは、大まかな内容と、金額の提示があってもいいと思う。内容に不明な点があれば指定管理者が町民や議会からバッシングを受けるわけだから、真剣に管理されると思うが。

企画課長 くつかけテラスは、概算額5281万円で風越は1億500万円である。内容については提示していく。

土屋正治 くつかけテラスのどの部分を指定管理に出すのか。

観光経済課長 図書館と多目的室運営を除く、交流施設・南北自由通路・待合用の駐車場・コインロッカー・南北広場・ポケットパークは除雪も含む交流施設の運営、自主事業とがある。

総務常任委員会

地下水保全条例修正案提出!!

地下水保全条例の修正案（追加条項）

1. 違反者には、工事や採取の停止をもって臨む。
2. 地下水保全の責務者を町民等にまでに拡げる。
3. 条件違反は、是正措置を経て許可の取り消しとする。
4. 水道法以外の水道（井戸）の定義を加える。

修正案をつけて可決すべきものとして、本会議で報告した。

育児短時間勤務制度

問 育児休暇により他の職員の負担増や業務への支障は。

答 短時間勤務者同士の組み合わせや間に合わない場合は、臨時職員の雇用で対応する。

その他

問 本年は、野菜価格の低迷で、来年度の種等の仕入れが心配である。利子補給の考えは。

答 利子補給の希望者は、12月14日まで募集していた。3月に予算措置を考えている。

問 旧軽井沢のマンション予定地で、大木が全て伐採されたが。

答 町の自然保護対策要綱で最低限の木は、残すように指導している。

「議会とまちづくりを語る会」より出された行政への質問

問 電線地中化で街並みのきたない所まで目につくようになった。指導はあるのか。

答 県の景観ガイドラインにそって指導している。

問 区で防災組織を立ち上げたが、危機管理課を作り指導して欲しい。

備蓄倉庫の設置に補助をして欲しい。

答 防災係で指導をする。

備蓄倉庫の補助は、孤立が予想される区を考えている。

問 農協通りの渋滞がひどい。ツルヤの所に右折の車線を作って欲しい。

答 渋滞は、自然渋滞と考える。右折車線は検討するが土地の問題で時間がかかる。

問 中軽井沢の活性化で、町の都市デザイン室でデザインを出したらどうか。

和モダンについてアイデアは。

答 主体は住民の皆さんで、町は情報の提供や指導で手伝いたい。

和モダンの街づくりの案を提示し、協議しながら進める。

問 借宿の集落内を通らない新設の道路計画があるが、御代田町からくる県道とバイパスとその国道との取付けが一緒に進まないと効果がでないのでは。

答 新設道路は、平成25年に設計、平成26年に着工し平成30年に完成予定である。

県には、町とあわせるよう要請しているが、国とは協議中である。

他に当委員会では、規約の変更1件、条例の制定1件、条例の一部改正5件、指定管理者の指定2件、町道の認定1件、工事の変更請負契約の締結1件、補正予算3件の、計14件について審査を行い、条例の制定1件を修正し、いずれの議案も可決すべきとの報告をしました。

議会とまちづくりを語る会

軽井沢町議会では、本会議や委員会活動の状況などの一方的な報告だけではなく、議会と何でも話せる場とするために、「議会とまちづくりを語る会」を開催し、町民の皆様と意見交換をしています。今回は、11月20日から22日まで3日間、3地区で開催しました。各会場とも出席された皆様から多くの貴重なご意見を頂きました。

意見交換において議論となった事項については、今後議員間で議論を深め、議会活動と政策立案に活かしたいと考えます。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

11月20日（火）矢ヶ崎公園管理棟　出席者24名

社会常任委員会

国民健康保険税引き上げ!!

問 軽井沢町の国民健康保険税は、近隣市町村に比べ高いという新聞報道もあるが、実態は。

答 町では、近隣市町より国保税率を低く設定している。

4人世帯で所得額が300万円とした場合、町では年間43万1700円で、近隣市町より2万円から4万円低い額である。

一人当たりの医療費が高くなっているため、国保税で賄えない医療費分を平成23年度は、1億6200万円、町で補てんしている。

ゴミ袋の値上げ

問 ゴミ袋の値上げが必要な理由は。

答 ゴミ袋の大きさにより料金に格差が生じているので、均一化を図ることにした。

問 料金の値上げについてパブリックコメントは求めたか。

答 均衡を図るための是正なので、求めていない。

老人福祉センターの営業は

問 老人福祉センターの営業時間を5時まで延長できないか。

答 老人福祉センターの指定管理者に伝える。

問 老人福祉センターの評判が悪すぎる。利用者からのクレームも多く、指定管理を解約できないかとの相談もあるが。

答 本会議で指摘を受けたあと、管理者側に改善を申し出ており改善する旨の回答を文章でもらっている。

「議会とまちづくりを語る会」より出された行政への質問

住居表示の取り入れ

問 「大字長倉」と「大字発地」は、広範囲で解りにくいので、解りやすくできないか。

住居表示だけなら登記上の問題はないので、町単独でできると思うが。

答 町単独でできる。平成25年1月の区長会で区長と協議したい。

届出のない看板は

問 屋外広告物条例では、3平方メートル以上の看板は届出が必要となっている。届出のない看板はあるか。

答 パトロールもしてチェックしており発見次第、撤去を指導している。

街並みづくりと色彩

問 登録商標を規制することで、返って景観を損なうこともあるが。

答 建物等、固定される建造物に使用する色は、ある程度抑える必要がある。京都のコンビニなどは、ブランドカラーを抑えて京都らしさを演出している。軽井沢も、軽井沢らしさを取り入れていきたい。

他に当委員会では、条例の一部改正3件、補正予算5件の計8件について審査を行い、いずれの議案も原案可決との報告をしました。
また、陳情2件について審査を行い、本会議に意見書案を提出しました。

11月22日(木) 借宿公民館　出席者40名

11月21日(水) 中軽井沢区民会館　出席者26名

国際親善交歓会の復活を！

佐藤敏明

町　長

今年度の反省を生かし「さわやか軽井沢交流会」をよりよいものにしていきたい

問 軽井沢国際親善交歓会の開催を取りやめたが、どんな諸事情があったのか。

総務課長 招待者の基準が明確でなく、別荘戸数も一万戸を超え、所有者の世代交代が進む中、公平性を訴える方が非常に多くなり親善交歓目的でなく飲食目的の場となり、国際交流を深める場ではなくなったとの声もあることから、取りやめる判断をした。

問 軽井沢国際親善交歓会の今までの平均招待客数と費用は。

総務課長 平成18年から平成22年の5年間の平均招待客数は831名、平均費用は516万9千円である。

問 さわやか軽井沢交流会の来場者数と費用は。

総務課長 町の集計は353名で、費用は318万1千円である。

問 今までの国際親善交歓会に戻し、運営内容を検討したらどうか。

総務課長 今年度の反省を生かし、このさわやか軽井沢交流会をきちっと仕上げ、よりよいものにしていきたい。

軽井沢町広告掲載要綱

問 広告基準・広告掲載要綱の「規制業種又は事業者」の中に「不動産に関する業種」とあるが。

企画課長 自然保護対策要綱により開発抑制をしながら自然を守ってきている。町が保有する資産に不動産業に関して広告をすることにより、開発事業を町が推奨していると誤解を招くことを避けるためにこの基準を設けたのでご理解いただきたい。

問 広告掲載要綱・広告掲載基準から、「不動産に関する業種」を削除できないか。

企画課長 もう一度精査しなければならないと思うが、相当な議論が必要で難しいと考える。

湯川ふるさと公園で行われた「さわやか軽井沢交流会」

今こそ、中軽井沢 再生計画の策定を

荻原宗夫

町　長

元気な中軽井沢を作っていくために官民一緒に

問　今年度の3月には中軽井沢駅周辺整備事業が終わり、町としての中軽井沢の活性化事業が一つの区切りをむかえる。

この事業により、中軽井沢が大きく変わるとは考えにくい。しかし、此の機を捉えて民間による再開発をするときと考える。

国土交通省が推進する「優良建築物等整備事業」の申請をし、中軽井沢の再開発を民の力で行う時と考える。

町はこの事業申請に協力する気があるか。

建設課長　優良建築物等整備事業は、中心市街地環境整備の整備が必要な地区において、市街地総合再生計画を策定し、それに沿って地区の実状に合わせ段階的、総合的に整備を進める事業である。この整備事業は、市街地の環境改善、良好な市街地住宅の供給等を促進する制度として、土地利用の共同化等整備を行う事業に対して共同建設補助を行う制度である。

事業を推進するには、関係者のおおむねの合意に基づき、市街地総合再生計画を作成し、その内容が地権者に十分理解されその意向を反映されたものが大切である。

よって、権利者による町づくりの機運及び協議会が発足される等の動向があれば、町としては積極的に市街地総合再生計画の策定に着手していく。

問　企画課・観光経済課そして、町長の考えは

企画課長　「みんなの力でつくるまち」の補助を活用してコンサルタント等の招聘に協力出来る。

観光経済課長　商店街の環境整備、近代化、活性化に関する事業等、事業補助があるので、事業主体や事業概要がまとまったら協議を願いたい。

町長　くつかけテラスももうすぐ完成するが、今後中軽井沢で同様の大型事業がはたしてどのくらい先にあるのか不透明である。今回の事業を契機に、中軽井沢の皆様が中心となって、活性化に頑張っていただくことは、非常に心強く思うところである。

くつかけテラスが行政の事業なら、町並み整備は民の力をぞんぶんに発揮して、進めていただきたい。行政も一緒になって元気な中軽井沢を作っていくため進めていきたいと考えている。

元気な中軽井沢を目指して

LED防犯灯設置をリース使用にできないか

川島　さゆり

生活環境課長

本年度より５年計画で防犯灯の2500灯の器具交換が始まっており、予算の平準化も図る

問　当町の防犯灯の総数、新設、修繕依頼数は。

生活環境課長　11月末現在で2725灯、平成23年実績で新設19灯、修繕依頼数は定期電球交換1641灯、臨時故障対応64灯である。

問　臨時故障等の修繕料と、全体の電気料は。

生活環境課長　臨時故障対応64灯は、全体で86万6千円、蛍光灯関係の修繕である。電球交換は、定期交換と、臨時交換を合わせて全体で1665灯、約250万円。電気料は、全体で822万7399円になる。

問　水銀灯は災害時に破砕、落下し、人体に悪影響を及ぼすが、優先的にLED灯に替える計画は。

生活環境課長　当然今後順次、進めて行く。

問　エネルギー政策の転換期を迎え、節電、コスト削減のため、LED防犯灯をリース使用にできないか。

生活環境課長　仮にリースを10年とした場合、2000灯で計算をすると、器具設置に6000万円、金利1500万円、ランニングコストは10年で約2700万円、合計で1億200万円となる。当町の計画通りだと5業者で500灯ずつ4年間で替えていくと、器具設置で6000万円、ランニングコストは10年間で3050万円、残りの蛍光灯電球替え約230万円で、合計9280万円になり、リース使用の方が高くなることから、現状で進めていく。

問　リースの場合は、全町の2000灯が一度にLEDになる。

また、災害時等の防犯灯の故障や復旧の費用もリース会社の保険により対応できるメリットもあると思うが。

生活環境課長　LED照明も含めて技術開発の途上であり、当然価格の低廉化ということも考えられる。

後々のメンテナンスのことも考えると、地元の業者と契約し実施していく現在の方法が一番良いと考える。

問　LED照明より安く、人体に安全な「CCFL」という照明もあるが、今後の研究は。

生活環境課長　情報提供ありがたい。

今後、より良い物が出れば研究し、取り入れて行く。

蛍光灯の防犯灯から

LED 防犯灯へ

土屋好生

軽井沢町の空き家対策は

生活環境課長

景観、防災・防犯、有効利用の視点からの対策が必要

問 空き家には、さまざまな問題が指摘されている。廃屋化した場合の景観の悪化、不審者の出入り、災害時の倒壊のリスクの高さ、倒壊による通行・道路の封鎖、緊急車両の妨害等などが考えられ、いずれも深刻な問題と考えるが軽井沢町として空き家問題をどう捉えているか。

生活環境課長 景観の問題、防災・防犯の問題、有効利用等の視点があると思う。

それぞれの目的に合った対策が必要であると捉えている。

問 この問題については、まず実態把握が重要と思うが、軽井沢町の現状をどのように捉えているか。

生活環境課長 現状においては深刻な問題となるような事例は少ないと考えているが、実態については把握していく必要があると考える。

問 実態把握の方法として、現在、考えがあるか。

生活環境課長 地域での必要性の重視ということが一番であると思う。

各区あるいは消防団等での見回りなどにおいて、問題がある物件を取り上げていただき、個々の考えではなくて、地域ごとの課題として捉えていくことがよいと考える。

問 空き家について自治体によっては、持ち主が不明の場合の強制撤去など、個人情報や財産権に踏み込むような強制的な条例や、また逆に、廃屋撤去に補助金を出して、撤去意欲を高めるような施策をとっているところもある。軽井沢町で空き家条例を制定する考えは。

生活環境課長 現段階での条例の制定は考えていない。個人の財産権に及ぶという問題や別荘等所有者の所在の特定が難しいといった問題もある。

補助金については公平性を保つという部分で、補助対象基準の設定も難しい面があるかと思う。

増えている空き家

問 空き家バンク制度は、もともと不動産業者のいない過疎地の空き家を紹介する制度だったわけだが、現在では都市圏の市町村にも拡大している。当町でも導入すれば、住宅だけでなく、空き店舗情報なども発信して、空き店舗の解消などにもつながるのではないかと期待できる。

空き家バンク制度を進める考えは。

観光経済課長 空き家バンク制度を進めるには、安い物件を求める一方、補修の手間と費用に苦情があったり、登録物件の半数以上が補修の必要があるといったケースも多く見られ、今後、先進市町村の状況や町不動産協会に軽井沢町の状況について聞き取りを行うなど、連携をとり、十分に研究したいと考える。

どの辺まで踏み込んでやるのかということを、今後、考えていく必要があると思う。

防災訓練を街中で実施できないか

市村　守

町　長

総合防災訓練ということで、多くの機関からの参加をお願いするので、広さがほしい

街中での訓練実施も

問　多くの住民に参加してもらうため、街中での実施を考えられないか。

消防課長　多様な機関が参加し、総合的に訓練を実施する広さが必要なので、現在の軽井沢浄化管理センターが最良と考える。見学者の送迎バスを検討する。

さわやか軽井沢交流会の効果、今後は

問　別荘所有者の参加が少なかった。成果が上がらなかったのではないか。今後の考えは。

総務課長　十分な成果が上がったとは捉えていない。反省点を踏まえ、しっかりした交流ができるものとして進めたい。

町長　場所、天候等不利な条件が重なってしまった。来年度への課題となった。すべての別荘所有者に交流会案内を差し上げたことはよかったと思う。反省をして、さらに充実したものに仕上げていきたい。

25年度事業の確認

問　茂沢公民館の建築計画の内容は。

教育次長　平成25年度中に建設予定で、建物構造は、木造平屋建198.74平方メートルになる。また、防災の拠点として備蓄庫3.3平方メートルを設け、防災用品を備蓄する予定である。

問　農産物直売所建設にあたっての事前協議による場所や規模等は。

観光経済課長　現在、建設場所選定中。直売所、農業関係者の要望に基づいて用地、規模を考慮し、25年度用地買収、設計委託実施。1月に（仮称）建設委員会を設置し、内容、運営方法等を検討し、26年度予算計上する。

有害鳥獣捕獲後の対処

問　町外ハンターによる浅間山麓の鹿の捕獲成果は。

観光経済課長　現在、エリアの下見をしている。これから捕獲に入る。

問　放射性セシウム等の関係で、食肉にできない鹿の処理対策は。

観光経済課長　環境に配慮し、町において焼却処理を委託している。

中学校運動部活動に外部指導者の活用を

篠原公子

教育長

支援者ボランティアの中で指導者養成を進めたい

問 中学校運動部活動では、顧問教員に大変な負担があり、また生徒にとっても、顧問教員がそのスポーツの専門でない場合、不安感があり、教育上双方に弊害があると思うが当町での実態は。

教育次長 運動部活動は15部あり、そのうち外部指導者が関わっているのは7部である。

問 部活と地域、保護者との連携はどのようにしているのか。その中での課題は。

教育次長 中学校には「部活動運営協議会」があり、委員としては、PTA正副会長、保護者代表、外部指導者、体育協会、中学校職員、教育委員会担当で構成している。

教育長 教師の負担軽減と指導者不足が最大の課題である。

問 外部指導者対策のためには、「地域総合型スポーツクラブ（SC軽井沢）」との連携が急務だと考えるが。

教育次長 SC軽井沢との連携は、教育改革推進委員会の中で今後協議するようになっている。

教育長 学校支援ボランティアを募集したがなかなか難しい。今、区長会を通して支援ボランティアを探しており、至急に指導者養成を進めていきたい。

部活に外部指導者を

教育相談室の設置

問 文科省のいじめ緊急調査で、全国の小・中学校が把握したいじめは、約14万4000件で昨年度の2倍を超えた。

親子とも相談しやすい、第三者機関による「教育相談室」の設置が必要と考えるが。

教育次長 当町では、スクールサポーターを置き、随時相談を受け付ける体制をとっている。また、中学校では心の相談員を配置し、中間教室においても随時相談を受け付けており、現在の制度で機能していると考える。

問 スクールサポーター・中間教室の先生は子どもや保護者・教師への支援事例が多く、あまりにも多忙である。相談室の設置が難しければ、中間教室の中に相談室を置き、いつでも相談できるよう、常勤の指導体制を2名にしては。

教育長 中間教室の目的は、学校と家庭の間に施設を置いて最終的には学校への復帰させることにある。同じ場所で、相談室の機能が果たせるのか、非常に難しいと思うが今後、検討したい。

近年被害が多く、急増しているシカ・イノシシの駆除を

観光経済課長

捕獲効果を上げるための研究をしていく

佐藤幹夫

問 近年急増しているシカ・イノシシの生息数及び過去の捕獲数は。

観光経済課長 生息数は、ニホンジカ推計600頭前後、イノシシについては把握できていない。

捕獲数は、ニホンジカが平成19年12頭、20年15頭、21年44頭、22年74頭、23年116頭、24年11月末現在150頭。イノシシが平成19年52頭、20年55頭、21年148頭、22年105頭、23年116頭、24年11月末現在78頭となっている。今後も一層の捕獲に努める。

別荘の庭に張られたイノシシ防御ネット

イノシシの固体数の管理をしっかりして

問 イノシシに関しては、はっきりとした生息数を把握していないということだが、相当数生息していると思う。

最近、別荘の庭が非常に荒らされることが多く、昼間よく見かけるようになった。人的被害が出ることも懸念される。今のうちに総数を減らすために思い切った駆除ができないか。

観光経済課長 捕獲は、主におりを設置して行っているが、総数を激減させることは難しく、町としても苦慮している。2月にイノシシの捕獲対策全国検討会が開催されるので、さまざまな自治体の取り組み事例や情報交換を通じて、捕獲効果を上げるための研究をしていく。

シカ肉からセシウム検出

問 シカ肉からセシウムが検出されたが、どの程度の量検出されたか。

観光経済課長 平成24年6月のニホンジカの放射性物質検査で、暫定基準値が100ベクレルに対して142ベクレル検出され、当分の間、野性獣肉の出荷及び摂取を控えるよう県からの自粛要請が出された。6月以降3検体の検査を9月に実施しているが、それぞれ、55、47、41ベクレルと基準値以下となっており、11月にも1検体を検査しているが、この検査結果によっては、自粛の解除ということになる予定である。

中部小通りと新幹線側道との危険な交差点、改善する考えは

大浦洋介

生活環境課長

地元区民と協議しながら、早急に改善していく

問 交通事故が多発する中部小通りと新幹線側道との危険な交差点を改善する考えは。

生活環境課長 歩行者等の安全確保の視点から信号機の設置を考えている。地元区民と協議しながら、早急に改善していく。

交通事故が多発する中部小通りの交差点

実験中の「ラウンドアバウト」について

問 「六本辻」でこれまで、どんな重大事故が発生しているのか。

企画課長 幸いなことに、重大事故は発生していない。

問 実験は平成25年5月迄ということだが、交通量の多い夏季まで続ける必要があると思うが。

企画課長 実験期間が「来年のゴールデンウイークまで」というのは正式決定ではない。最終的には町長が意思決定していく。

問 自転車との接触事故を回避するため、ラウンドアバウトをもう少し大きくしてはどうか。

企画課長 大きくしたくても土地所有者の了解が得られない中では難しい。

問 一時停止をしないまま、環道に侵入する車が多いが。

企画課長 「一時停止」については、実験段階でも問題になっている。警察とも相談して、解決を図っていきたい。

問 実験中の従道路には流入部と流出部の間に「分離島」がない。通学児童が「分離島」のない横断歩道を渡っても大丈夫なのか。

企画課長 本来なら、「分離島」を設置することで歩行者の安全を図るのだが、当該従道路は元々道幅が非常に狭いため、設置できなかった。ただ、今までより安全性は向上していると思う。

問 実験中の従道路に横断歩道が設置されている。横断歩道があればラウンドアバウトにする必要はないのではないか。

企画課長 実験そのものが先進的な事例であるため、やってみないと分からない部分がある。貴重な意見として今後の会議等で検討材料とする。

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

厚生労働省は、2011年6月17日、医政局長、労働基準局長、職業安定局長、雇用均等・児童家庭局長、保険局長の5局長連名で、「看護師等の『雇用の質』の向上のための取り組みについて」の通知を発出しましたが、その中で「看護師等の勤務環境の改善なくして、持続可能な医療提供体制や医療安全の確保は望めない。夜勤交代制労働者の勤務環境改善は喫緊の課題」としています。

全国各地で大問題となっている「医療崩壊」「介護崩壊」の現状は、東日本大震災で改めて明らかになり、医師・看護師・介護職員など医療・福祉労働者の深刻な人手不足が浮き彫りになりました。「医療崩壊」「介護崩壊」をくい止め、安全・安心の医療・介護を実現するためには看護師などの夜勤・交代制労働者の大幅増員と働き続けられる夜勤改善をはじめとする労働環境改善が不可欠です。

厚生労働省の5局長通知を実効あるものにするためにも医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、持続可能な医療提供体制、安全・安心の医療・介護を実現することが求められています。

安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の大幅増員・夜勤改善を図る対策を講じられるよう、下記の事項について国に要望します。

記

1. 看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上とし、労働環境を改善すること。
2. 医師・看護師・介護職員などを大幅に増員すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月21日

軽井沢町議会議長　大林　義博

提出先：内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣

安心できる介護保険制度の実現を求める意見書

2012年4月から3年間（第5期）の65歳以上の「第1号介護保険料」は、全国平均で月額4,972円に、長野県内の63保険者は881円増の平均月額4,920円となりました。制度がスタートした第1期と比較して2,574円（約2.1倍）も上昇して、高齢者には重い負担増となっています。利用者と家族にとっては、利用限度額上限に達して必要なサービスを受けられない、利用料負担が重くて必要な介護を受けることができないなど、家族の介護負担もいっこうに軽減されていません。

同時に行われた介護報酬改定は、ヘルパーの生活援助の時間区分が「1時間」から「45分」とされ、サービス低下や事業所の経営悪化、ヘルパー収入減など様々な問題が表面化しています。デイサービスでは、時間区分が変更され、7時間以下の事業所には12パーセント近い介護報酬引き下げとなり、多くの事業所ではやむなく7時間以上に延長して対応していますが、利用者から苦情やスタッフのシフト・送迎体制にも影響が出ています。

「介護崩壊」といわれる介護現場は、人手不足を反映した過酷な勤務環境と低賃金からくる離職率は20パーセントを超え、「介護職場では働き続けられない」実態が続いています。安全・安心の介護の提供と介護の専門性が発揮される介護現場にしていくためには、介護職員の大幅増員と処遇改善が必要です。

以上の趣旨から下記の事項について国に要望します。

記

1. 介護現場の実態をふまえ、介護報酬の緊急再改定を行うこと。
2. 国庫負担を拡充し、介護保険料と利用料負担を軽減すること。
3. 生活援助の時間短縮を見直し、必要なサービスを受けられるように改善すること。
4. 国の責任と財政負担により、介護職員の処遇改善を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月21日

軽井沢町議会議長　大林　義博

提出先：内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣

信濃追分地区周辺整備事業　魅力ある旧中山道の歴史的な街並みの再生！

追分宿の表通り（町道追分村中線）は、歴史的街並みに配慮した整備が進行中です。

今後、歴史や文化施設を生かし、より一層の地域振興が図られることが期待できます。

追分宿に整備されたポケットパークと石畳風の舗装

町民・別荘客・観光客の交流による地域の活性化に！　中軽井沢駅周辺整備事業

地域の生活拠点、中軽井沢として、駅周辺の魅力づくりに「くつかけテラス」が果たす役割は重要です。4月1日の開館に向け快適で、便利な地域づくりを目指します。

図書館に併設された多目的室

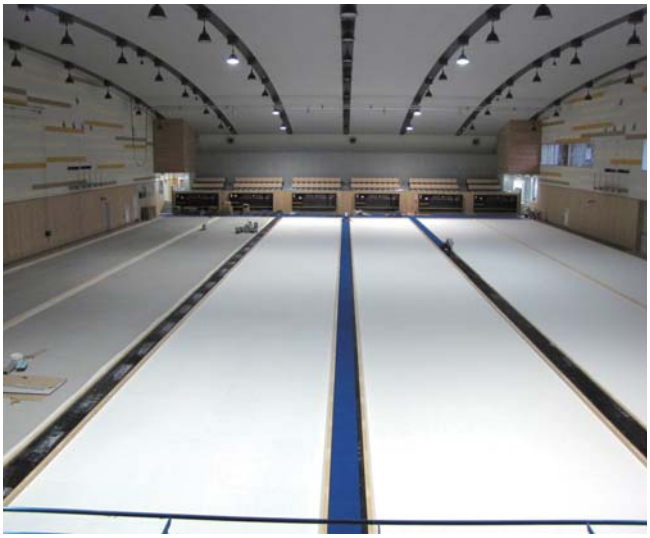
約７万冊の本が収蔵される

風越公園整備事業　カーリングの聖地へ『アイスパーク』

平成25年3月の完成に向けて建設中の、カーリングホール棟の工事進捗状況は、建物はほぼ出来上がり、内装の最終的な工事と外構工事、備品の搬入取り付け等が順調に進められています。

4月1日からは、通年営業が始まりますが、完成を記念してのオープニングセレモニーとして、4月17日(水)から4月21日(日)まで「国際カーリング選手権大会２０１３」の開催が予定されています。

中学校のカーリングクラブも活発に活動しております。また、社会体育でカーリングをおこなう小学生が増えており、今後の活躍に大きな期待が寄せられています。



議会運営委員会・議会改革検討特別委員会視察報告

平成24年10月15日～16日

一、滋賀県野洲市

《視察目的》

議員懇談会、報告会について

《考察》

議会基本条例の中に住民との懇談会や議会報告会を義務付けてある点では、当町と同じだが、野洲市は、「市民と共に考える議会」の項に懇談会・報告会の実施を盛り込んでおり、より市民が議会の活動に参加するという意識の高揚につながるものと思われる。

今後の課題については、議員各位の熱意と知恵により解決していかなければならない問題である。

二、三重県鳥羽市

《視察目的》

新たな議会IT化の推進について

《考察》

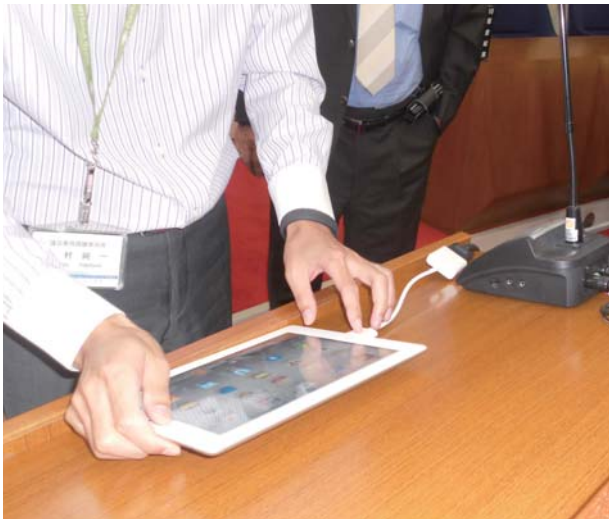
情報技術（IT）化を進める鳥羽市議会は、全国から注目されている。

視察件数も昨年は39議会、本年も25議会が訪れているが、視察受け入れの際には、鳥羽市に宿泊していただくことを条件としている。これは、議会視察が鳥羽市の観光資源として経済の活性化に寄与していると言える。

ITを活用しての議会の見える化は、今やさけて通れない手法となっている。当町議会に於いても、グーグルカレンダーによる日程の公表や、議会棟のインターネット環境の整備など早急に取り組む必要がある。

《参加議員》

委員長　内堀次雄
副委員長　荻原宗夫
委　員　土屋正治・袖山卓也
篠原公子・大浦洋介
土屋春男・佐藤幹夫
議　長　大林義博



タブレット端末を駆使して

議会広報編集委員会視察報告

平成24年10月23日～24日

議会広報委員会では、愛知県幸田町議会と武豊町議会を視察した。

幸田町の議会だよりは、全国で優秀賞を受けた。

また武豊町の議会だよりは、表紙の写真が全国最優秀賞を受賞した。

幸田町は、できるだけ明るい色を使い、町民が見て解りやい文章に気を使っている。

また、町民が一番関心を持っていると考える一般質問は、できるだけ早いページに配置している。

各ページの見出しには、気を使っており、インパクトのあるものになっている。

武豊町議会だよりの表紙の写真は、テーマを決め、委員全員で撮りに行くことにしている。数多い写真の中から、全員で選択して載せている。

我が委員会でも学びたいところである。

さらに研鑽を積んで、解りやすい議会だよりの作成を目指したい。

《参加議員》

副委員長　荻原宗夫
委　員　内堀次雄・市村　守
土屋好生・横須賀桃子

全国表彰を受けた両町の議会だより

平成 25 年

第１回軽井沢町議会定例会を開催

第１回　１月 10 日～ 12 月 25 日までの会期 350 日間

第１回議会定例会（１月１回会議）が１月１０日に町長より招集され、会期の決定と議案５件を原案どおり可決しました。

１月会議（概要）

- 土地の取得について
- 平成 23 年度社会資本整備総合交付金事業地域交流施設他土留擁壁設置工事委託に関する変更協定の締結について　2,259 万円減額
- 中軽井沢橋上駅・南北自由通路他工事委託に関する変更協定の締結について　5,960 万円減額
- 中軽井沢駅下り線ホーム他改修工事委託に関する変更協定の締結について　1,465 万円減額
- 平成 21 年度まちづくり交付金事業中軽井沢駅上り線線路他移設工事委託に関する変更協定の締結について　1,215 万円減額

平成 24 年の通年議会本会議・委員会等の開催日数

平成 24 年の議会は、第１回軽井沢町議会定例会１月 11 日～ 12 月 21 日までの 346 日間開催しました。本会議等の開催日数は、下記のとおりです。

名　称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
本　会　議	1		5		1	5			4		1	5	22
議会運営委員会	1	1	1		2	1		1			2	1	10
常任委員会（2）			2			2			2			2	8
特別委員会（5）	2		8	3		4	2		7	3		6	35
全員協議会	1		1	1	1	2	1		2	1	1	2	15
議　員　研　修	3			1	2		1	1		4	5		17

《平成 24 年　視察受入状況》

《他市町村等の議会より議会側への視察受入 13 回》	
1 月 18 日(水)	埼玉県比企郡小川町議会　議会運営委員会
1 月 24 日(火)	新潟県柏崎市議会　議会改革特別委員会
5 月 22 日(火)	長野県箕輪町議会　議会活動活性化委員会
5 月 22 日(火)	新潟県長岡市議会共産党議員
7 月　3 日(火)	群馬県大泉町議会
7 月 18 日(水)	信濃町議会事務局
9 月　7 日(金)	早稲田大学マニュフェスト研究所
10 月 23 日(火)	北海道共和町議会　総務厚生常任委員会
11 月　6 日(火)	東京都清瀬市議会
11 月　7 日(水)	北佐久郡立科町議会
11 月 12 日(月)	山梨県甲州市議会　議会運営委員会
11 月 13 日(火)	山形県村山市議会　議会運営委員会
11 月 16 日(金)	埼玉県吉見町　議会運営委員会

《他市町村の議会より行政視察受入 3回》	
5 月　9 日(水)	宮崎県都城市議会総務委員会
5 月 17 日(木)	熊本県天草市議会（会派）
7 月 27 日(金)	宮崎県小林市議会会派視察

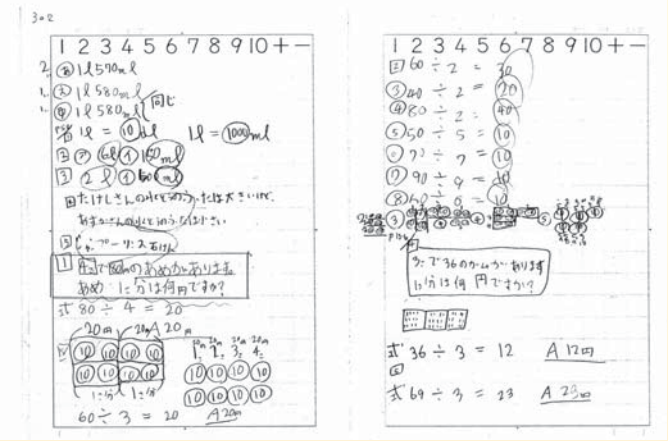
NEWS FROM OUR SCHOOL!!!!

Karuizawa Chubu Elementary School

「豊かな心と共に生きる力を持つ中部の子」を目指して、平成24年度の教育活動として3つの活動を行っています。

あいさつ

豊かな心も共に生きる力もあいさつからスタートさせています。氷点下の寒い中、元気いっぱいの声と笑顔でみなさんをお迎えします。



のーと

「学び合い」を目指して、ノートに図や絵を入れたりしながら、自分の考えを美しくまとめることを目指しています。そのノートは、ペアや班で学び合うときの元となり、黒板で説明するときには、図や絵が根拠となります。

今の子どもたちには表現力や活用力が求められています。国際文化都市の軽井沢に学ぶ子どもたちとして、生き生きと自分を表現できる力が付きつつあります。

そとあそび

軽井沢の目指す、美しく冬も遊べ、けがの少ない芝の校庭。その芝がはがれるくらい子どもたちは、サッカーや大縄飛び・野球・テニスと様々に体を動かし、友だちとの絆を深めています。

今年スタートした陸上部は、全国大会最優秀賞に輝いた吹奏楽部、地域の皆様と元気な音を立てている太鼓クラブ、伝統のスケート部とともに、最高の芝とトラックの校庭にしようと、冬もトレーニングしています。

（軽井沢中部小学校）

編集後記

あけましておめでとうございます。

さて、昨年は師走の慌しい時期に衆議院の選挙があり、過去最低の投票率の中、自民党の圧倒的な勝利で政権が交代となった。

なぜこんなに投票率が悪いのか、多くの国民は政治に関心がないばかりでなく、政治に期待していないのであろうか。

我々議員もその一端を担っているので責任を感じている。

政治は、普段みんなが思っている小さな事柄を形にしていくことの積み重ねだと思う。

今年もよろしくお願いします。

（柳澤）

議長　大林　義博
委員長　柳澤　講次郎
副委員長　荻原　宗夫
委員　横須賀　桃子
土屋　好生
市村　守
内堀　次雄

－発行－
平成25年1月20日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒389-0192
☎0267（45）8910
－編集－
議会広報編集委員会
－印刷－
有限会社東城印刷
☎0267（45）1710